

米国中心に大荒れの株式市場、新型肺炎感染の終息が待たれる

- 新型肺炎懸念でNYダウは連日の急落、日本株も連れ安に
- 中国本土の新型肺炎感染者数の伸びは足元やや鈍化
- 市場は感染拡大の一巡、それに伴う経済正常化を待つ

■ 新型肺炎の世界的流行を嫌気し株価が急落

米国株が連日の急落（図1）、日本株も連れ安となっています。新型コロナウイルス感染の世界的流行を受け、市場では1-3月期の景気失速が不可避な中国中心に、世界経済の先行き不安が高まっています。一方、一旦底を付けた中国株が示唆するように、いずれ来る新型肺炎の終息や経済活動正常化を織り込みつつある節もあります。

■ 市場の視線は新型肺炎終息と景気反転へ

株価底固めには、中国外の感染拡大に歯止めがかかることが条件です（図2）。そうなれば世界的流行の懸念が薄れ、主要国の金融・財政政策などを追い風に、景気回復期待を高めていくとみえます。目先こそ景気指標悪化が見込まれ株価は調整余地を残すものの、景気が一時的減速に終わった2003年SARSや2014年エボラ出血熱問題時と同様、徐々に落ち着く展開を予想します（図3）。（瀧澤）

【図1】2月に入り調整局面を迎えた米国株式

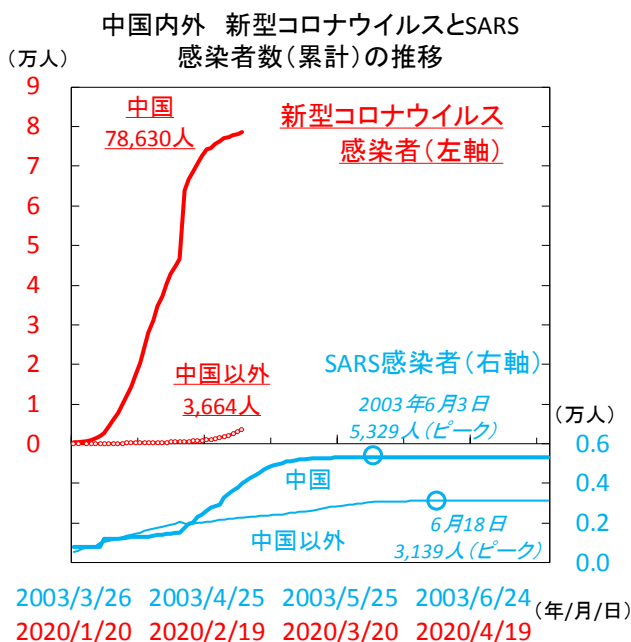


注）2020年の高安値を表記。
直近値は2020年2月27日時点。

出所） Bloombergより当社経済調査室作成

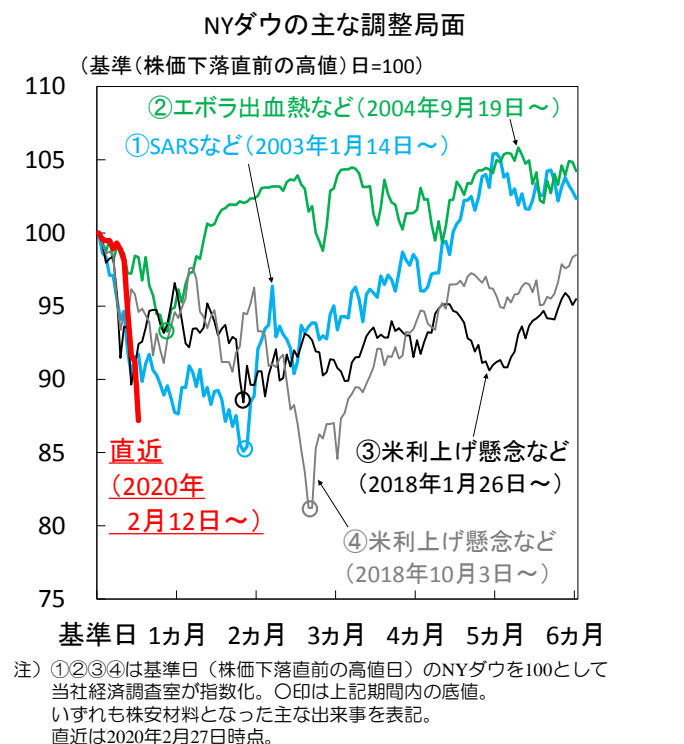
【図3】株価調整幅はSARS発生時や2018年終盤に近づく

【図2】SARS感染者数は表面化から3ヵ月程度でピークに



注）SARS：重症急性呼吸器症候群。
データはSARS感染者が2003年3月26日～7月11日、
新型コロナウイルス感染者が2020年1月20日～2月27日（すべて日次）。
SARS感染者数は中国および中国以外のピークを表記。
なお新型コロナウイルスは2月13日の判定基準見直しで感染者数が急増。

出所）WHO（世界保健機構）、CEICより当社経済調査室作成



注）①②③④は基準日（株価下落直前の高値日）のNYダウを100として当社経済調査室が指数化。○印は上記期間内の底値。
いずれも株安材料となった主な出来事を表記。
直近は2020年2月27日時点。

出所） Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会